

#### C1 北山 勲

今回のブックハンティングでは、主に経済に関する本を選びました。これらの本を通して、生活と深く結びついている経済などについて、より深く興味を持ってもらえるの良いと思っています。八戸ブックセンターに行ったのは今回が初めてでした。興味がそそられるような展示や本の紹介などが印象に深いブックセンターは、本の魅力を再発見できるような場所であると感じました。機会があれば来年以降も参加したいです。

#### E2 浜飯 彩純

私自身、ブックセンターには何度か来たことある。しかし、1時間もこの場所で本を眺め、吟味したことはなかった。学生に最も人気だったのは、数学書が主に置いてあるコーナーだった。高専という学校は理系の学校で、またそこに通う学生も理系科目を好むのだということをしみじみと感じた。選出した本にもその人それぞれの個性がよく出ていたように思える。ブックハンティングに参加したのは今回が初めてだった。楽しかったので、来年もまた参加したい

#### E2 赤沼秋星

自分で買おうと思っても買えない本を手にとれる機会だったので楽しかったです  
今回選んだ本は自分が読みたい本とみんなに読んでもらいたい本の両方を選びました  
中でも「数学ガール」は学校の枠を超えた新しい数学の世界に4人の数学ガールと主人公が挑戦するもので、教科書や参考書とは違い物語形式で話が進むため読みやすいです  
数学ガールは現在第6巻まであり、今回買った「ポアンカレ予想」で図書館に全てそろいました。ぜひ読んでみてください。

#### C2 越川葉澄

今回のブックハンティングでは、テーマを「音楽と数学」に絞って本を選びました。ひとつは「和音」に関する本です。趣味や部活で音楽をしている人にぜひ読んでもらいたいとおもいました。もうひとつは「数学の絵」に関する本です。3次元で表される図形が鉛筆画で美しく描かれています。数学は数式ばかりで敬遠されがちなので、単純に絵として目で見て楽しめる本は画期的だと思いました。この2冊以外にも選んだのでたくさんの方に読んでもらいたいです。

#### M3 清水志ノ伸

今年も、図書委員としてブックハンティングに参加できて、とても嬉しく思った。私は高専に入学した三年前から、このイベントに参加しているため、三度目となるが、今回初参加の学生も多く、新鮮な時間を過ごすことが出来たと思う。今回私が選んだ本は、科学のロマンに溢れるSF映画「STAR WARS」のコンセプトアート集と、高専生を含め数多くの学生が読むべき、「スマホ依存」に関する本である。どちらもとても面白そうなので、図書館に並んだら、是非読みたいと思う。

#### C3-28 沼田春海

今回私はブックハンティングに参加して、紙の本の魅力を改めて感じました。カバーや表紙の質感、文字の書体、大きさなどが1冊1冊違い、電子書籍にはない魅力だと思いました。また、選んでいる最中に多くの発見がありました。私が前回参加したときには無かった本などがあり、とても興味が湧きました。ブックハンティングに参加して、新しい気づきなどがあり、参加できて良かったと思いました。

#### C4 高畑 碧

持ち運びにくくかさばる上、図書館にも置いていなくて、今まで読むのを諦めていた本が選べて嬉しかったです。本屋さんで気に入った本を買うワクワク感を久しぶりに味わえました。こんな本を読んでほしいと誰かにプレゼントを選ぶような気持ち、小さいころ読んだ思い出の本を見つけて懐かしいと思う気持ちなど、普通に本を買うときはなかった、ブックセンターでブックハンティングをするからこそ感じる思いもありました。また、他の参加者の選んだ本を見て、こんな本もあるんだ、読んでみたい！と普段選ばないような本を読む意欲がわきました。

#### C4 犹守響子

私は今回がブックハンティング参加二回目でした。前回のブックハンティングのテーマは「自分の興味がある本」だったのに対し、今回は「高専生に読んでほしい本、読んでみようかなと思ってもらえる本」をテーマにしました。私が最も大切にすることは幅広いジャンルの本を選ぶことです。小説はもちろん、詩集、経済についての専門書、実際の図書館であった覚え間違いタイトル集、J-POPの歴史に関する本、果ては絵本まで…、PC利用やテスト週間にふらっと立ち寄った、普段本を読まない学生にも「この本はなんだろう、読んでみようかな」と手に取ってほしいと考えています。書店で本を購入するときは自分のために自分の興味がある作品を手に取ります。しかしブックハンティングではこの本を読んでほしい誰かのために作品を手に取ります。「贈り物」として本を選ぶ楽しさに気づくことができた一日でした。また来年も参加したいと思いました。